

令和6年度 新任教員FD・SD研修 実施報告

1. 実施概要

- 受講者数：令和6年度採用の新任教員：22名、学内教職員（希望者のみ）：4名
- 日時：令和6年4月中下旬～9月13日（金）まで
- プログラム名：全国私立大学FD連携フォーラム「実践FDプログラム」【オンデマンド】
- 対象講義：「FD」区分の中から一講義以上、「SD」区分の中から一講義以上を受講
- ＜推奨講義＞
- ・他大学等の教育経験あり：「教授学習理論Ⅲ」と「大学管理運営Ⅱ」
 - ・他大学等の教育経験なし：「授業設計論Ⅰ」と「大学管理運営Ⅰ」
- ※学内教職員の希望者は、興味・関心のある講座のみを自由に受講

2. 講義別の受講者数

No	講義名	区分	テーマ	受講人数
1	高等教育論Ⅰ	FD	現代の高等教育	2名
2	高等教育論Ⅱ	FD	高等教育研究史	3名
3	高等教育論Ⅲ	FD	大学教育改革とFD	4名
4	高等教育論Ⅳ	FD	大学評価論	0名
5	高等教育論Ⅴ	FD	高等教育政策	2名
6	高等教育論Ⅵ	FD	初年次教育の動向	2名
7	教授学習理論Ⅰ	FD	教授・学習の理論と教育実践（1）	0名
8	教授学習理論Ⅱ	FD	教授・学習の理論と教育実践（2）	0名
9	教授学習理論Ⅲ	FD	アクティブラーニングを促す教授法	8名
10	教育方法論Ⅰ	FD	教育工学の観点から	4名
11	教育方法論Ⅱ	FD	高等教育における授業技術	4名
12	教育方法論Ⅳ	FD	学習教材作成における著作権等の理解	1名
13	教育方法論Ⅴ	FD	学生授業評価の性質と授業への活用	2名
14	教育方法論Ⅵ	FD	情報活用基礎	0名
15	授業設計論Ⅰ	FD	大学の授業の設計	10名
16	教育評価論Ⅰ	FD	成績評価の意味と方法	4名
17	教育評価論Ⅱ	FD	目標測定に基づく評価	2名
18	教育評価論Ⅲ	FD	ティーチング・ポートフォリオとは	1名
19	心理学Ⅰ	SD	青年期の心理	3名
20	心理学Ⅱ	SD	発達の原理と各段階の特性	1名
21	心理学Ⅲ	SD	臨床心理学の基礎と応用	3名
22	心理学Ⅳ	SD	発達障害のある学生の学びーアスペルガー症候群を中心にー	5名
23	研究者倫理Ⅰ	SD	教員と学生の教育・研究を促進するツールとしての研究倫理	5名
24	研究のアウトリーチ活動Ⅰ	SD	研究者にできる多様なアウトリーチ活動の紹介	6名
29	大学管理運営Ⅰ	SD	大学教職員のための大学管理運営基礎	16名
30	大学管理運営Ⅱ	SD	近年の大学改革の進展を踏まえた大学管理運営の新たな発想	11名
31	大学管理運営Ⅲ	SD	リスクマネジメントー大学教員のためのキャンパスハラスメントー	5名
32	大学管理運営Ⅳ	SD	IR 入門	6名
33	大学管理運営Ⅶ	SD	PDCA を理解する	4名
34	大学管理運営Ⅷ	SD	教職協働による大学運営	1名
35	FD概論Ⅰ	SD	大学におけるミクロ・ミドルレベルでのFD活動	0名
36	プロジェクト・マネジメント	SD	大学経営革新に活かすプロジェクト・マネジメント	2名

3. アンケート内容および結果

□実施方法：Google フォーム

□回 答 率：100%

□設問項目：

Q1：印象に残った講義を教えてください。

Q2：その講義が印象に残った理由を教えてください。

Q3：新任教員 FD・SD 研修で学んだことを、学部や個人の教育活動に活かしたいと感じましたか。

Q4：新任教員 FD・SD 研修の満足度について教えてください。

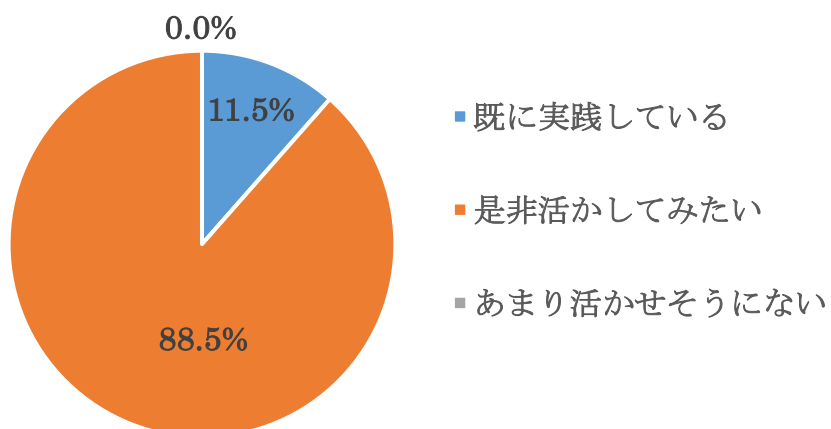
Q5：新任教員 FD・SD 研修全体をより良くするための提案や意見があればご記入ください。

□アンケート結果

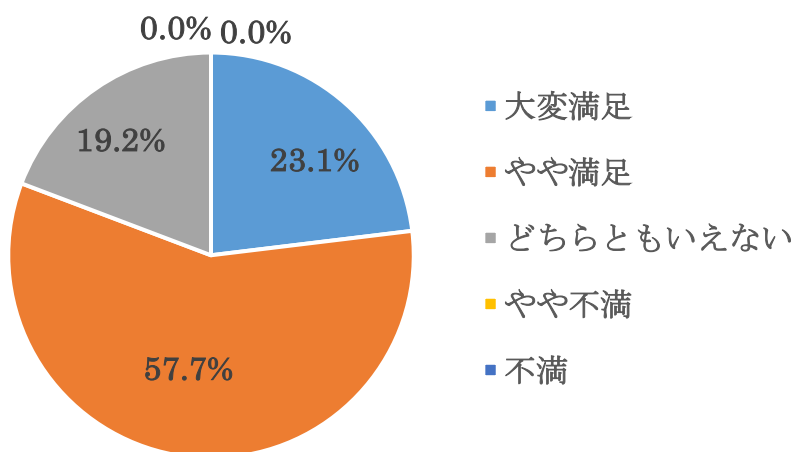
Q1：印象に残った講義を教えてください、Q2：その講義が印象に残った理由を教えてください。

①印象に残った講義	②その講義が印象に残った理由を教えてください。（※一部抜粋・改稿を含む）
教育方法論Ⅳ【FD】	
心理学Ⅳ【SD】	自閉スペクトラム障害をもつ学生への配慮は、他の学生に対しても行うことで全体の利益に与すると思った。
大学管理運営Ⅳ【SD】	日本中の大学における IR 業務の実態がよくわかったから。
心理学Ⅳ【SD】	発達障害を持つ学生に対する考え方を確認できたため。
教育評価論Ⅰ【FD】	
大学管理運営Ⅰ【SD】	大学という組織を講義で説明されていたほど俯瞰的に捉えたことがなかったため。
教育方法論Ⅰ【FD】	学生の主体的な学びを促す授業の作り方を学ぶことができたから。
教授学習理論Ⅲ【FD】	発問で思考を刺激する意味を把握することができたため。
教授学習理論Ⅲ【FD】	アクティブラーニングに関する多様な学習が説明されていた。
研究のアウトリーチ活動Ⅰ【SD】	自身のキャリアに参考になったため。
心理学Ⅱ【SD】	対応に苦慮する学生の中には、単純に不真面目であるとかではなく、適切に発達段階を経ていないのではということを感じたため。
大学管理運営Ⅳ【SD】	教育の質の向上や、研究力の向上のきっかけを見つけるために、勉強しなければと思いつつなかなかできていないのが IR でした。特に第 3 部の事例を聞き、改めてデータ分析の手法を身に着けたいと感じました。
教育工学【FD】	授業・教材作成に役立つため。
大学管理運営Ⅱ【SD】	大学を巡る環境変化を具体的なデータとともに説明されとてもよくわかった。自分が学生時代の状況から色々なことが激変していることをしっかり理解し、大学教員として教育、また大学運営に貢献しないといけないと思った。
授業設計論Ⅰ【FD】	評価プロセスについて考える機会になった。
大学管理運営Ⅱ【SD】 教授学習理論【FD】	大学教育の意味合い（大学管理運営Ⅱ）や、アクティブラーニングを促す教授法について学ぶことができた。

Q3：新任教員 FD・SD 研修で学んだことを、学部や個人の教育活動に活かしたいと感じましたか。



Q4：新任教員 FD・SD 研修の満足度について教えてください。



Q5：新任教員 FD・SD 研修全体をより良くするための提案や意見があればご記入ください。

- たとえば WebClass を用いた学内での情報交換ができるとよいのではないかと思います。
- 動画も含めて講義の充実をお願いいたします。動画にて学習が可能だと時間に応じて対応ができます。
- 特にありません。ありがとうございました。